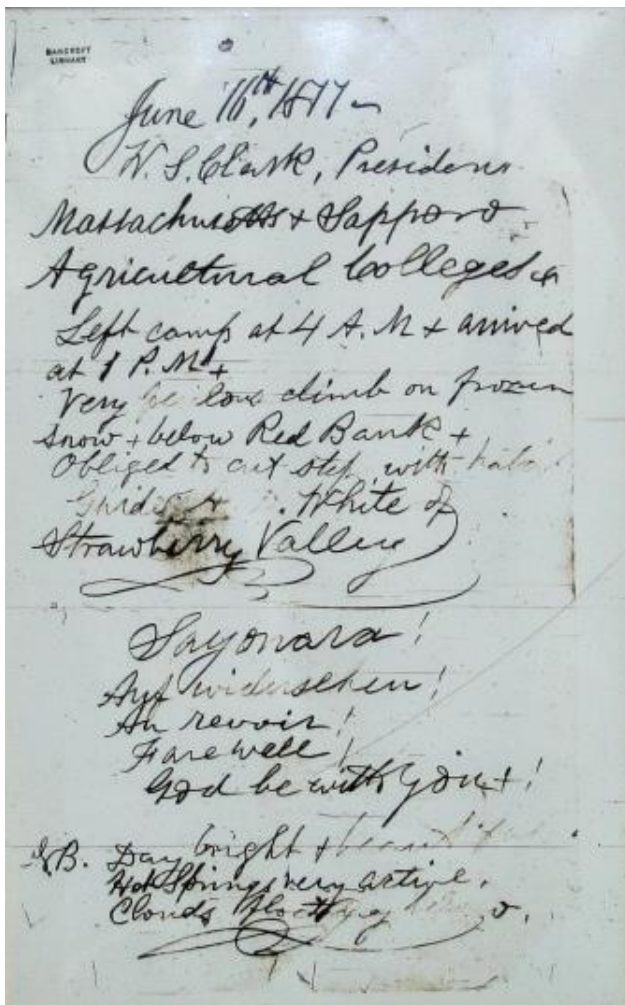


「クラークのメモ」

クラーク博士が故郷に帰る途中にカリフォルニア州シヤスタ山を登り、山頂の記念帳に書き残した自筆のメモである。

このメモは、北大に縁のある人がアメリカの図書館で見つけ、そのコピーを本学に寄贈したものである。



1877年6月16日

マサチューセッツ並びに札幌農科大学の
学長 W・S・クラーク

午前4時、宿营地発、午後1時山頂着。凍結
せる雪を踏み、きわめて危険な登坂。
ストロベリー谷のガイド、ホワイト氏が赤岩
に手オノを振るい、ステップを刻んでくれた。

サヨナラ！（日本語で）
さらば！（ドイツ語で）
さらば！（フランス語で）
さらば！（英語で）

神、きみと共にあれ！

銘記すべき日なり、
熱泉の噴出激しく、眼下に雲海ゆたう。